

かがみむら

鏡村直販店組合

～楽しい、なつかしい、気軽な店であるために～



旬の野菜を地元言葉で日替わりお知らせ



ジャガイモ、バケツに入りきらん。どっさりあるー！

経緯

- 県都高知市に隣接する旧鏡村の地理的条件や日曜市に出店していたノウハウを生かし直販店「鏡むらの店」をオープン。
- 販売農家だけでなく自家用野菜農家にも広く声をかけ、高齢者や女性農業者の所得向上の場づくりのためのアンテナショップとなる。

取組内容

- 料理教室、加工教室を通じて鏡郷土に伝わる時期時期の野菜の調理・保存方法を伝承。地域のふれあいの場として活用。
- 親子収穫体験では、畑の畔に座り炭火を囲みながら田舎ならではのコミュニケーションを体験。
- 情報誌「らぶ・レター」で、鏡の野菜を使ったレシピ、鏡の旬な情報、野菜の生育情報などを発信。

活動の効果

- 忘れられつつある鏡村の農産物の調理・加工・保存方法を店頭で丁寧に説明することで、「鏡むらの店」のファンを獲得。
- 少量でも出荷・販売が可能となり、高齢者や女性農業者の所得が向上。
- 料理教室、加工教室を通じて、昔の母親の味を子、孫に伝承。
- 鏡地域の方が作った食材を学校給食に提供することで、野菜の食べ残しが減少。

応募団体からのアピール・メッセージ

「鏡むらの店」の販売員は全員鏡村にお嫁にきたか鏡村で育った人です。鏡愛を持った販売員が生産者に感謝し、お客様に鏡村の良さを込めて販売しています。今後またのしい、なつかしい、気軽な店として、皆様に必要とされる店でありたいと思っています。